

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表: 令和6年3月1日

事業所名: サポートステーション みつばちパーク

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		活動内容に合わせて、園庭や放デイ室を活用し、スペースを確保しております。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		職員数は配置基準を十分に満たしており、専門職も配置しております。	登園時など職員が手薄になる時などは特に職員一同協力し、連携を密に図ってまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		室内はバリアフリーになっており、屋外の段差解消には簡易スロープを活用しております。	構造上し字の活動室のため、死角で事故が発生しないよう注意を払っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		活動終了後、その都度使用したすべてのスペースや玩具等清掃消毒し、清潔と感染症対策に努めています。	感染拡大防止のため、活動中は常に換気や高機能空気清浄機を使用し、こまめな消毒・除菌等を実施してまいります。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		日々のミーティングの際、計画や振り返り等にて改善点の検討や情報共有に努めております。	全職員で参画し、定期的な業務改善会議も行ってまいります。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		送迎時や面談等でいただくご意見やアンケートを踏まえ業務改善に努めております。	引き続き、広くご意見やご要望をうかがえるよう、関係性の構築に努めてまいります。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		毎年自己評価アンケートを実施し、結果についてはホームページに公開すると共に、保護者様へ文書配布しております。	保護者様や職員の意見要望を吸い上げ、より質の高い支援と業務が遂行できるよう努めてまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		現在第三者評価は受けておりませんが、地域にお住いの第三者委員を選任し、地域住民の立場から当事業所のサービスに対するご意見をいただいております。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に外部講師を招いた職員研修や各種研修等に参加しております。	研修受講者は研修報告を作成し、全職員に報告周知を図り全体の資質向上に努めております。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		定期的にモニタリングやアセスメントを行い保護者様の意向や課題をうかがい、計画に反映できるよう作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		お子様にあわせた独自のアセスメントや内城式式を取り入れております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		定期的なモニタリングや支援会議等を行い、お子様一人一人にあわせた支援目標を立て、計画に沿った具体的な内容を設定しております。	ご家庭や並行通園先の様子なども把握し、お子様が地域で安心して生活出来るよう関係機関との連携を図り、『家族支援・地域支援』にも力を入れてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		日々の振り返り等を通して、職員間で情報共有し、統一した支援を心掛けています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間の活動方針をもとに、計画リーダーを中心に全職員で活動内容の検討・準備等行っております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		日々の活動の中に、季節や行事に合わせた遊びや活動も盛り込みながら内容を工夫しております。	今後も、あらゆる体験や経験を一人ひとりが楽しく安全に取り組めるようしっかり計画してまいります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		お子様の特性に合わせた、きめ細かな支援計画を作成し、必要時はマンツーマンの対応を行っております。	専門職による個別対応や活動なども計画しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		リーダーを中心に支援の流れや内容、担当するお子様の課題や目的等を確認しております。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		ミーティングを通し振り返りや改善点を話し合い、次回に生かせるよう情報共有を図っております。	全職員での情報共有を図り、統一した支援ができるよう心掛けてまいります。
19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		療育日誌や個人記録を作成し、振り返りや今後の支援に繋げられるよう情報共有に生かしております。		

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的なモニタリングやケース会議を行い、よりよい支援ができるよう内容の検討を行っております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		主に児童発達支援管理責任者が参加し、お子様の特性に合わせて看護師や専門職が同席します。	関係機関が揃って担当者会議が行えるよう、関係機関との連携を図ってまいります。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		関係機関連絡会議や研修等へ積極的に参加しています。	これからも保健センターとの情報共有や発達相談会、地域支援会議等へ積極的に参加し関係機関との連携を図ってまいります。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		看護師や専門職を配置し、お子様の既往歴や投薬状況、緊急時の対応などを把握しております。	相談支援事業所や並行通園先との情報共有を強化してまいります。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			保護者様を通じて主治医や専門職と連携を図り、緊急時の対応や活動内容の意見交換等を行ってまいります。
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		並行通園先への訪問や日々の送迎時等に直接先生方と情報共有を図っております。	双方への訪問を行ったり連絡会を開催するなど、密に連携を図りながら情報共有に努めてまいります。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		就学相談会、移行支援会議等への積極的な参加や移行支援シートを作成し、保護者様の同意の上就学先への情報提供を行っております。	
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		法人内の他事業所との交流や合同研修会などを実施しております。	公開療育や他事業所との活動内容検討会、意見交換会等へ積極的に参加したいと思います。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		同法人の保育園や児童発達支援事業所との交流や活動の場の機会を増やしていこうと計画しております。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	同法人の相談支援専門員が積極的に参加しています。	相談支援専門員と共に職員も参加する機会を作っていきたいと思っております。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		ご要望に合わせて連絡帳を用いたり、送迎時やお電話でお子様の様子や連絡事項等をお伝えしています。	次年度より登降園管理を含めたシステムの導入を計画しており、活動内容等をよりわかりやすくお伝えできるようになると思います。
31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			家族支援に当たり必要なペアレントプログラム等の研修参加を積極的に行い、保護者様のニーズに応えられるよう更に体制を整えてまいります。	
保護者への説明責任等	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		見学や契約の際に詳しく説明し、玄関にも提示していつでも確認いただけるようにしております。	引き続き契約や変更時など、丁寧に説明するよう心掛けてまいります。
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		作成した個別支援計画の課題や内容等保護者様に説明し、同意を得て交付しております。	5領域をすべて含めた総合的支援内容を提供することを基本とし、5領域とのつながりを明確化した計画のもとに支援してまいります。
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		定期的なモニタリングだけではなく、いつでも相談をお受けできるよう体制を整えております。	
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		子ども達の行事にあわせて保護者会を開催し、活動への参加や保護者同士の交流の機会を作っています。	感染状況も落ち着いてきているので、事業所合同の行事や遠足、保護者会やイベント等を積極的に開催していこうと計画をしております。
	36 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情相談窓口、解決責任者を選任しており、いつでも気軽に相談いただけるようおたより等にも掲載しております。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月のおたよりにて行事計画や活動内容、子ども達の様子等、分かりやすくお知らせできるよう努めております。	来年度より登降園管理等のシステムを導入する予定であるため、より分かりやすく迅速にお伝えできるようになると思います。
	38 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		職員一同規則に従い、十分に配慮しながら管理運用しております。	年度ごとに保護者様の意向調査を実施し、またシステムの運用にあたってはより注意を払ってまいります。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		コミュニケーションツールとして絵カード等の活用や視覚支援を行っております。	
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		秋祭りやチャリティーイベントを開催し、誰でも参加できる活動を行っております。	感染症等がたいぶ落ち着いてきましたので、これまでより規模を拡大するなど、みんなが楽しめる企画をご案内できるような準備したいと思っております。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各種マニュアルを職員全員で周知徹底し、感染症対策については法人の判断基準等、その都度保護者様にも文書でお伝えしております。	
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		消防署との非常災害訓練や自主避難訓練、消防設備点検等定期的に行っております。	職員一同あらゆる災害等に対応できるよう日頃から危機管理意識を高め、訓練してまいります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		看護師が中心となり、お子様の既往歴や投薬状況、発作等の緊急時の対応など把握しております。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在アレルギーのあるお子様については、事前に献立をお知らせし保護者様の意向をうかがったうえで対応しております。	引き続き委託している給食業者のメニュー内容や金額などの情報を提供し、保護者様のご意向をおうかがいしてまいります。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハットが発生した際は、当事者が報告書を作成し、全職員で再発防止・対応策を検討し共有しております。	
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		権利擁護、虐待防止等の研修に参加し、全職員にて研修内容の周知や検討会を実施しております。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		契約の際、やむを得ない場合の身体拘束事由などを十分に説明し同意書の作成承諾を得ております。	お子様の生命や安全確保のため、やむを得ず身体拘束が必要な場合は、適切な対応ができるよう全職員で周知してまいります。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)